





エピソードイアラバスタ
砂漠の王女と海賊たち
サウンドトラック

INDEX

- 01. 夕空をベルの背に乗って<M1>
- 02. 鬼気迫るコーヴ<M2>
- 03. ボン・クレーとビビ<M3>
- 04. ルフィが2人!?<M4A>
- 05. マネマネの実の能力<M4B>
- 06. 陰謀<M5>
- 07. 英雄クロコダイル<M6>
- 08. 仲間の印<M7>**
- 09. トトおじさん<M8-1>
- 10. 幼き日の約束<M8-2>
- 11. バロックワークス<M9>
- 12. おれたちの命くらい賭けてみろ!!!<M10>**
- 13. 反乱軍VS国王軍、衝突寸前<M11>
- 14. 互いを信じ、それぞれの道へ<M12>
- 15. ルフィVSクロコダイル<M13-1>
- 16. 続く激闘<M13-2>
- 17. ナミのセクシ~♥<M14>**
- 18. 6人のビビ<M15>
- 19. ビビの声はコーヴに…!<M16>
- 20. 不屈のビビとカルー<M17>
- 21. それぞれのバトル<M18>
- 22. 戦争<M19>
- 23. 逆転! ウソップ&チョッパー<M20>
- 24. 見切ったぜ、マネマネの実<M21A>
- 25. 激闘! サンジ<M21B>
- 26. 国は人なり<M22>**
- 27. クロコダイル出現<M23>
- 28. 燐烈! ナミ<M24>

新曲／作曲・編曲：田中公平
(01, 08, 12, 17, 26, 45~48, 54)

「compass」劇場バージョン(Instrumental) 作詞・作曲：川崎あい
編曲：麦藁海賊団 楽曲協力：つばさレコード

歴代MOVIE曲／

作曲・編曲：田中公平(02~04, 06, 07, 09, 10, 13, 16, 20~25, 27, 28, 30, 31, 36, 37, 39~42, 44, 49, 52, 53),
浜口史郎(14, 19, 29, 32, 34, 35, 50, 51), 岩崎文紀(11, 15, 18, 38, 43), 丸尾 稔(05), 澤口和彦(33)

「ワンピース」のド真ん中を、一篇の映画にしました！

企画：梅澤淳穂

『ワンピース』の何が面白いかと言えば、原作漫画の魅力に尽きます。だから今作は、原作漫画のエピソードを劇場版のクオリティで描きました。

いずれ劣らぬ傑作ばかりの原作エピソードの中でアラバスタ篇に決まったのは、やはりビビです。TVで時代劇スペシャルを企画すれば彼女の話になる。イベントを組めば彼女が思い浮かぶ。私だけでなく他のスタッフも、おそらく皆さんもそうでしょう。ビビは、麦わら海賊団の面々に匹敵する、忘れる事のできない強烈な印象を残しているんです。

そしてアラバスタ篇は、絆を描いています。『ワンピース』のテーマである仲間との友情よりも大きな、愛ですよね。それがストレートに伝わるエピソードです。子供たちをめぐり今起こっている命の問題にも訴えられればという、願いも込めています。

しかし何よりも原動力となったのは、映画館でのつかいスクリーンでアラバスタ篇を観たい！という個人的な気持ちでしたでしょうか(笑)。

壮大なエピソードですが、国を守り抜く王女・ビビとナイトたちという視点で、もう一度構築したら、一篇の90分の映画に仕上がるのではないかと進めました。ルフィは、クロコダイルとの初戦で敗れて姿を消してしまう部分もありますからね。

それと我々スタッフ・キャストも皆さんも、口

binの過去が分かった上で観る初めてのアラバスタ篇となる事も大変興味深いところです。同じ行動でもロビンの見方が全然違ってきますよ。ここも是非体験して欲しいポイントです。

映像面は、1カットもTVの絵を使ってない完全新作です。段違いにクオリティの違うアラバスタ篇が繰り広げられます！またCG技術は、TVで描いていた頃よりも格段に進歩しています。クロコダイルのスナスナの実の能力、群衆シーンには多大な効果を発揮しました。音響面は、声優さんのお芝居はすべて録り下ろし、音楽は書き下ろしのメインテーマを軸に歴代の劇場版からベストチョイスする事になりました。

尾田栄一郎先生からいただいたのは「泣かせて下さい」の一言でした。ポスター等のメインビジュアルもそこに向けてのものです。全員後ろ向きという宣伝材料としては常識破りな構図ですが、やはりあのラストシーンにしました。そのラストからスタートしている今回の映画です。変化球一切なし、真っ直ぐですと球種を宣言して振りかぶってます。ただし速度はハンバジやありませんよ。200キロ以上の剛速球で、皆さんのハートに投げ込みます！

アラバスタ篇を知らない世代の子供たちにも、知り尽くしたファンの方々にも、絶対に楽しんで泣いていただきます。スクリーンで観ないと意味がありません。是非映画館へ、足をお運び下さい！

STORY

グランドラインをアラバスタ王国に向かって突き進む、ゴーイング・メリー号。そこには、アラバスタ王国の王女・ビビもいた。

砂漠の国といわれるアラバスタは、悪の秘密結社の暗躍により崩壊の危機に直面。ビビは組織の正体を暴くため2年前に国を出て、やがて諸悪の根源が国の英雄・クロコダイルだと知る。

そして今、ルフィ、ゾロ、ナミ、ウソップ、サンジ、チョッパーという心強い仲間を得たビビは、父親でもある国王・コブラと国の人々を救うため、いざアラバスタへ!!

その頃、アラバスタでは、クロコダイルの陰謀により、国王軍と反乱軍との全面戦争が始まろうとしていた。

両軍を激突させ、国が弱体化したところを乗っ取ろうと企むクロコダイルは、国王軍・反乱軍の両方に手下を潜入させ、確実に両軍が対立するよう周到に計画を進めていた。

事態を知ったルフィたちは、一刻も早くビビを国王のもとに送り届けようとするが、その行く手にクロコダイルと彼のパートナーであるミス・オールサンデー、そしてMr.2ボン・クレーら手下どもが立ちはだかる!!

果たしてルフィたちは、ビビを守り、クロコダイルを倒し、アラバスタ王国を救うことができるのか!?

キャラクター 説明

クロコダイル [大友龍三郎]
王下七武海のひとりであり、パロックワークスのボスでもある。スヌスナの実の能力者。アラバスタ王国と、古代兵器“ブルトン”を手に入れ世界政府転覆を計画していた。



ミス・オールサンデー
(ニコ・ロビン)[山口由里子]
パロックワークス副社長、ハナハナの実の能力者。クロコダイルにでさえ本性を見せない謎多き女性。

ウソップ [山口勝平]
ウソとバチンコを武器とする狙撃手。臆病なところもあるが、強い意志と優しい心の持ち主。手先が器用で、様々な道具の作成や船の修理などをしている。



ロロノア・ゾロ [中井和哉]
元海賊狩りの異名を持つ三刀流の剣士。親友との約束、そして自分の野望のために世界一の剣豪を目指す。



ナミ [岡村明美]
海賊専門の泥棒だったが、自分の目で見た世界地図を作るため、航海士としてルフィたちと旅にでる。その度胸と美貌で妻わら海賊団のまとめ役になっている。

サンジ
[平田広明]
海上レストランで副料理長を務めた海のコック。伝説のオールブルーを目指しルフィたちの仲間に加わる。足技が得意で、美女に弱い。



トニートニー・チョッパー
[大谷育江]

ヒトヒトの実を食べた青っぽなのトナカイ。妻わら海賊団船医として、仲間を助ける。ランブルボールによる七段変形で敵と戦う。



モンキー・D・ルフィ
[田中真弓]

ゴムゴムの実を食べたゴム人間! トレードマークの妻わら帽子は、シャンクスからもらったもの。海賊王を目指し今日も仲間と冒険中!

ネフェルタリ・ビビ [渡辺美佐]
アラバスタの王女。反乱から祖国を守るために、その元凶と思われるパロックワークスに潜入。ミス・ウェンズレーとして組織の実態を探っていた。王女としての責任感に溢れているが、ときに驚く程の冒険心を發揮する。



解説

海賊王ゴールド・ロジャーが残した財宝=“ワンピース”を求め、人々はグランドラインを目指す。世は大海賊時代！ゴムゴムの実を食べた麦わら帽子の青年・ルフィは、海賊王を夢見て、仲間を集めながら航海をする。2007年公開の劇場版7作目となる本作は、ルフィたちがグランドライン突入直後に出会ったアラバスタ王国の王女・ビビのために、クロコダイルと戦うエピソードである。週刊「少年ジャンプ」の漫画として発表され、TVでも2002年に91話～130話という40話(×30分)を費やして描かれ、好評を得た。

さて本アルバムの主役=音楽であるが、梅澤プロデューサーの言葉にあるように、新作メインテーマを軸に歴代の劇場版から選曲する方法が取られた。もちろん新曲を手掛けるのは、TV・劇場版に渡り壮大な『ワンピース』の音楽を紡ぎ続けている田中公平氏。その各曲については、本人のコメントをお読みいただきたい。

本アルバムは本作を彩ったすべての楽曲を、登場した順番に収録した。そのため歴代劇場版の田中氏の楽曲、田中氏と共に作った作曲家諸氏の楽曲も構成された、ヴァラエティに富んだ内容となつた。どの作品のどの楽曲も渾身であり贅沢に作られている。大胆かつ繊細に喜怒哀楽を描いた楽曲たちを聴いて『エピソード オブ アラバスタ 砂漠の王女と海賊たち』の世界に浸つていただきたい。さらにここから歴代の劇場版やそれぞれの作曲家の音楽に興味を持たら、是非それらのサウンドトラックや彼らのアルバムも楽しんでいただきたい。そして映音(映画音楽、映像音楽)の世界を拡げ深めてもらえたると、切に願う。

田神 悠(たがみく~たん)



TVでは叶わなかつた、アラバスタ篇のための楽曲を書けました。

音楽:田中公平

——TVで一度アニメ化されているアラバスタ篇ですが、それ用の楽曲はTV用M77“ナノハナ”とTV用M78“砂漠”的、情景を描いた2曲だけでしたね。

田中:数々の熱い名場面は、今まで使い続けていたTV用の音楽と、『珍獣島のチョッパー王国』までの劇場版3作の音楽から充てられていました、やっぱりそのシーンをベストに盛り上げる曲を書けたらと思って観ていました。今回メインだけとは言え、この名作に向けて作曲できるというのは、大変良い機会を得たと感じて取り組みました。

——ファーストシーンは、幼いビビがベルに乗って夕焼け空を行く場面が構成され、一篇の映画としてのまとまりを生み、かつヴィジュアル的でもありましたね。

田中:その映像に合わせてM1(トラック1)はファンタジックな曲にしました。その後モチーフを作った2つのうちの1つ“国は人なり”を、わずかに匂わせる程度出しています。国歌のような、厳肅さを感じもらえるメロディですね。これは物語を動かすビビと、クライマックスで活躍するベルの、信念を表していますから。M22(トラック26)がそのメインテーマです。そしてM40A(トラック45)に繋がるようにね。

モチーフのもう1つは“仲間の印”。これは熱い楽曲に！と書きました。しかしだだ強い、高揚するだけの曲ではなくて、思いやりを感じるようにもと意識しました。M7(トラック8)、M10(トラック12)で聴かせて、これも最後のM47(トラック54)に繋がるように織り込みました。メインビジュアルにもなっているラストシーンですね。TVの時は劇場版1作目のラストシーンの曲、M34が充たっていました。あの曲だと壮大な分、大きな感動に包んでしまうので、その劇場版1作目用M34またはTV用M1“海賊王”を意識しながら

も、もっとビビとの別れが実感できるように持つていきました。

——ラストシーンには、TVでも原作漫画でも描かれてなかつたカットが用意しても、3分近く時間がありました。長い曲というのはいかがなのですか？

田中:長い方が書きやすいんですよ。30秒や1分で、モチーフも活かして情景も描いて感動させてと発注をいただいても、なかなか満足に応えられない事が多かった。断片しかモチーフを出せなかったりね。ですからここはすばらしいラストシーンに、しっかりと時間をもらえたと存分に作りましたよ。

——ヒッコシクラブのハサミに、ナミがお色気を放つシーンにも新曲を書かれていますね。

田中:これはこれまでの音楽に、セクシーな曲が案外ないという事で、頼まれたんです。だからTV用M6ナミのテーマのアレンジにしましたよ。7年ぶりにね(笑)。

——ルフィVSクロコダイルの最終決戦M41(トラック47)も、すばらしいですね。

田中:これも3分を越える長い曲です。TVではドヴォルザークの「新世界より」第四楽章が流れましたからね。

——選曲としては巧みで興味深かったです。

田中:やはり私としてはね、自分の曲でという気持ちがありますから。書ける！というこの機会を活かして、最終決戦に合わせた曲を思い切り作りました。そして“ビビの涙”と注文を受けたM42(トラック48)に繋がっていくんです。ベルが砲弾の所に現れるくだりからラストまでは是非、映画館で見て聴いてほしいですね。そしてこのCDで何度も聴いてもらえた嬉しいです。

田中公平(たなか こうへい)

作曲。「超新星フラッシュマン」「トップをねらえ!」「勇者王ガオガイガー」「はじめてふまじめ かいけつゾロリ」など数多くの音楽を手掛ける。今まで続く長期シリーズに本作と『サクラ大戦』がある。

[本作、録音日:2007年1月31日(水) サウンドシティAスタジオ]



音楽:田中公平
浜口史郎、岩崎文紀、丸尾 稔、澤口和彦
劇場版監督:今村隆寛
プロデューサー:梅澤淳穂(東映アニメーション)
音楽制作協力:鈴木雄一(フジバシフィック音楽出版)
小西岳夫(東映アニメーション音楽出版)
A&R統括:鈴木篤志(avex mode)
A&R:後藤政則(avex mode)
宣伝統括:久保田恭史(avex mode)
宣伝:齋藤雅哉(avex mode)
音楽制作:斎藤裕二(イマジン)
當真 一(イマジン)

劇場版スタッフ
原作:尾田栄一郎(週刊「少年ジャンプ」連載)
監督:今村隆寛
企画:梅澤淳穂
脚本:上坂浩彦
音楽:田中公平、浜口史郎、岩崎文紀、丸尾 稔、澤口和彦
キャラクターデザイン・作画監督:井上栄作
美術監督:吉池隆司
色彩設計:塚田 効
製作担当:清水洋一

スペシャルサンクス:集英社 週刊「少年ジャンプ」編集部/
フジテレビジョン/東映/
東映アニメーション/東映ビデオ/
フジバシフィック音楽出版/
東映アニメーション音楽出版/
つばさレコード

(演奏)
コンダクター:田中公平
ストリングス:小池弘之グループ
ピアノ:松田真人
クラシックバーカッション:高田みどり
トランペット:菅坂 雅彦グループ
トロンボーン:松本 治グループ
ホルン:南 浩之グループ
チューバ:佐藤 淑
フルート:旭 孝、西沢幸彦
オーボエ:石橋雅一
クラリネット:星野 正
ハープ:朝川朋之
シンセオペレーター:まるおみのる

レコーディングエンジニア:中村充時
ミュージシャンコーディネイト:太田敏明(ベルベットライン)
張替夏子(ベルベットライン)
レコーディングスタジオ:サウンドシティ
トラックダウンスタジオ:アップサウンドプロジェクト
マスタリングスタジオ:form THE MASTER
マスタリングエンジニア:小柳令奈
楽曲構成・取材・解説:田神 悠(たがみく~たん)
ジャケットデザイン:東映アニメーション版権事業部デザインルーム
ジャケットコーディネイト:池田達昭(avex marketing communications)

スーパーバイザー:千葉龍平(avex entertainment)
高木政臣(avex entertainment)
エグゼクティブプロデューサー:松浦勝人(avex group)
監修:東映アニメーション
...and all「ONE PIECE」staff

avex携帯サイト&PCサイト:URL直接入力 <http://avex.jp/>
または、avex@avex.jpにメールを送信→返信メールからアクセス! (*ドメイン指定の方は、一時設定を解除して下さい)

【取り扱い上の注意】●ディスクは両面共、指紋、汚れ、キズ等を付けないように取り扱って下さい。●ディスクが汚れたときは、メガネふきのような柔らかい布で内面から外周に向かって拭剤状に軽くふき取って下さい。レコード用クリーナーや溶剤等は使用しないで下さい。●ディスクは両面共、鉛筆、ボールペン、油性ペン等で文字や記を書いたり、シール等を貼付しないで下さい。●ひび割れや変形、又は接着剤等で補修したディスクは、危険ですから絶対に使用しないで下さい。【保管上の注意】●直射日光の当る場所や、高温・多湿の場所には保管しないで下さい。●ディスクは使用後、光のケースに入れて保管して下さい。●プラスチックケースの上に重いものを置いたり、落としたりすると、ケースが破損し、ケガをすることがあります。

AVCA-26255 ©尾田栄一郎/集英社・フジテレビ・東映アニメーション ©「2007 ワンピース」製作委員会